

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 石垣食品株式会社

コード番号 2901 URL <http://www.ishigakifoods.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 石垣 裕義

問合せ先責任者 (役職名) 経理部経理課 課長

(氏名) 小西 一幸

TEL 03-3263-4444

四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	421	△14.3	△45	—	△46	—	△46	—
26年3月期第3四半期	491	△14.8	△55	—	△57	—	△50	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 △44百万円 (—%) 26年3月期第3四半期 △46百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	△13.80	—
26年3月期第3四半期	△14.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	406	285	70.2	84.21
26年3月期	405	329	81.4	97.37

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 285百万円 26年3月期 329百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	575	△4.4	△32	—	△33	—	△33	—	△9.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期3Q	3,390,000 株	26年3月期	3,390,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年3月期3Q	1,779 株	26年3月期	1,779 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	3,388,221 株	26年3月期3Q	3,388,221 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

なお、この四半期決算短信は、同レビュー手続の対象外であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、当社が現時点で把握可能な情報から判断する一定の前提に基づいた見込みであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって当社の見込みと異なるかもしれないことをご承知おきください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高421百万円(前年同四半期比14.3%減)、営業損失45百万円(前年同四半期は営業損失55百万円)、経常損失46百万円(前年同四半期は経常損失57百万円)、四半期純損失46百万円(前年同四半期は四半期純損失50百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① 飲料事業

ブームが沈静化したごぼう茶、前年はテレビ放映の影響を受けて好調であった杜仲茶、及び前年のリニューアルが期待したほどの伸長に繋がらなかった烏龍茶など健康茶類の売上は、ほぼ見込み通りでした。しかし主力の麦茶について、最盛期である夏季において、梅雨明けの遅れや、お盆以降の低気温等の天候不順の影響で販売が振るわなかったことから、夏季向けの在庫が残り、当第3四半期の工場稼働率の低下を招き、お茶製品全般の採算悪化が続く事となりました。

これらの結果、飲料事業全体では売上高191百万円(前年同四半期比18.6%減)、営業利益13百万円(前年同四半期比39.4%減)となりました。

## ② 珍味事業

ビーフジャーキーは、OEM供給製品の好調が続いたものの、自社ブランド商品の減収が続き、珍味事業全体でも減収が続きました。

自社ブランド商品については、ブランド強化を狙った新商品として、春に「やわらかビーフジャーキー」、秋に「牛くん」を投入しましたが、当第3四半期の業績には期待したほど寄与しませんでした。やわらかビーフジャーキーは、ビーフジャーキーを伸して柔らかくするという独自製法による特色ある商品でしたが、「やわらかいビーフジャーキー」という名称・コンセプト自体は、近年他社商品にも増加しており、その中で特色を示せなかったことから、当第3四半期の業績には寄与しませんでした。牛くんは、当社従来商品より燻製を強くすることで、風味に特色を出した商品でしたが、市場投入が秋冬商戦の開始に間に合わず、小売店の棚入れ替え商談に活用できなかったことから、当第3四半期の業績には寄与しませんでした。

損益面においては、為替円安進行に加え、上昇傾向であった国際牛肉相場が7月から急騰し、製造コストが大幅上昇しましたが、商品値上げは12月からとなりました。

これらの結果、珍味事業は売上高224百万円(前年同四半期比10.9%減)、営業損失3百万円(前年同四半期は営業損失15百万円)となりました。

## ③ その他

その他事業では、だしのもと減収が続いたものの、業務用乾燥ナルトでそれを上回る増収が続きました。

これらの結果、売上高5百万円(前年同四半期比20.6%増)、営業利益0百万円(前年同四半期比21.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は、四半期純損失の計上等により、総資産は406百万円(前連結会計年度末は405百万円)、負債は120百万円(前連結会計年度末は75百万円)となりました。純資産は285百万円(前連結会計年度末は329百万円)となり、自己資本比率は70.2%(前連結会計年度末は81.4%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点では平成26年10月20日発表の当社「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の内容から修正はございません。業績に影響を与える事象が明らかになり次第、適宜お知らせいたします。

なお上記の予想は、当社が現時点で把握可能な情報から判断する一定の前提に基づいた見込みであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

実際の業績は今後様々な要因によって当社の見込みと異なるかもしれないことをご承知おきください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期において、重要な子会社の異動はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度から2期連続して営業損失、経常損失及び当期純損失を計上する見込みであることから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社グループとしては、当該状況を早期に改善・解消すべく対処を行っており、当該状況に陥った要因は主に為替の急激な円安及び牛肉価格の高騰に伴うビーフジャーキーの採算悪化であることから、現状の為替及び牛肉価格に対応した商品価格の改定、新商品投入による工場稼働率向上、中国生産子会社が輸入許可を得ることで貿易商社を通さず原料牛肉を調達できることによるコストダウンを図るなど、事業採算の改善に継続的に努めております。

当社グループとしては、これらの対処を的確に行うことにより、当該状況が改善される見込みであること、及び今後の運用資金も十分に確保できていることから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しており、継続企業の前提に関する注記は掲載しておりません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	65,071	49,014
受取手形及び売掛金	87,720	100,632
商品及び製品	54,443	34,054
原材料及び貯蔵品	33,435	50,987
その他	3,210	13,449
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	243,880	248,138
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	52,344	49,528
機械装置及び運搬具（純額）	18,501	16,232
土地	47,780	47,780
リース資産（純額）	2,262	1,846
建設仮勘定	-	3,911
その他（純額）	2,241	1,841
有形固定資産合計	123,131	121,142
無形固定資産		
リース資産	8,021	6,548
その他	19,187	19,224
無形固定資産合計	27,209	25,772
投資その他の資産		
投資有価証券	3,740	4,266
その他	7,156	6,948
投資その他の資産合計	10,896	11,214
固定資産合計	161,237	158,129
資産合計	405,117	406,268

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,644	46,426
短期借入金	-	25,000
リース債務	2,570	2,622
未払法人税等	-	1,216
賞与引当金	3,566	612
未払金	21,561	19,687
その他	7,012	18,316
流動負債合計	66,355	113,882
固定負債		
リース債務	8,609	6,636
繰延税金負債	212	399
固定負債合計	8,821	7,036
負債合計	75,176	120,918
純資産の部		
株主資本		
資本金	300,000	300,000
資本剰余金	53,293	53,293
利益剰余金	△28,870	△75,626
自己株式	△782	△782
株主資本合計	323,640	276,884
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	383	721
為替換算調整勘定	5,917	7,743
その他の包括利益累計額合計	6,301	8,465
純資産合計	329,941	285,349
負債純資産合計	405,117	406,268

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	491,401	421,344
売上原価	343,625	283,299
売上総利益	147,776	138,044
販売費及び一般管理費	203,269	183,848
営業損失(△)	△55,492	△45,803
営業外収益		
受取利息	333	10
受取配当金	287	66
雑収入	103	79
営業外収益合計	725	156
営業外費用		
支払利息	199	312
為替差損	2,268	272
雑損失	74	82
営業外費用合計	2,542	667
経常損失(△)	△57,310	△46,314
特別利益		
投資有価証券売却益	7,020	-
特別利益合計	7,020	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△50,289	△46,314
法人税、住民税及び事業税	435	441
法人税等合計	435	441
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△50,724	△46,755
四半期純損失(△)	△50,724	△46,755



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△50,724	△46,755
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,432	338
為替換算調整勘定	8,348	1,825
その他の包括利益合計	3,916	2,164
四半期包括利益	△46,808	△44,591
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△46,808	△44,591
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。